

岡崎市社会資本整備総合交付金事業
評価委員会議事録

- 1 開会の日時 令和7年3月4日（火） 午前10時00分～午前10時40分
- 2 開会の場所 岡崎市役所西庁舎7階 西704号室（オンライン会義にて開催）

- 3 出席者
（評価委員）

委員長：名城大学教授 鈴木 温 氏
委 員：名古屋大学准教授 井料 美帆 氏
委 員：名古屋大学准教授 中井 健太郎 氏
委 員：名古屋市立大学准教授 三浦 哲司 氏

（事務局）

土木建設部建設企画課長 村井 宣雄
土木建設部建設企画課係長 平岩 美佳
土木建設部建設企画課主査 望月 雅由
都市基盤部市街地整備課係長 井澤 一平
都市基盤部市街地整備課主査 三宅 伸吾
都市基盤部市街地整備課技師 俵 千晶
土木建設部道路建設課係長 櫻井 淳

（傍聴人）
なし

- 4 委員会次第

- (1) 開会
委員長選任
- (2) 議事
社会資本総合整備計画「岡崎駅の生活圏における安全・安心に住まうためのみちづくり（防災・安全）」事後評価
- (3) 閉会

- 5 配布資料
- ・ 社会資本総合整備計画
 - ・ 事後評価シート
 - ・ 評価委員会説明資料

- 6 会議趣旨（開会 午前10時00分）
- (1) 本委員会は、「岡崎市附属機関等の会議の公開に関する要領」第2条の規定により、公開となることを説明
- (2) 委員長の選出、鈴木委員を委員長に選出
- (3) 議事（事務局説明、質疑応答）

- 7 議事内容

委員長 （鈴木温）	それでは、「岡崎駅の生活圏における安全・安心に住まうためのみちづくり（防災・安全）」の事後評価について、事務局より説明をお願いします。
事務局	（「岡崎駅の生活圏における安全・安心に住まうためのみちづくり（防災・安全）」の事後評価の説明を行った。）
委員長 （鈴木温）	これより審議に入ります。ご意見等あればご発言をお願いします。
委員 （三浦哲司）	アンダーパスに歩道はありますか。車道は片側2車線ですか。
事務局	歩道は車道と並行して整備されています。車道は片側1車線です。
委員 （三浦哲司）	定量的指標以外の効果発現状況について、歩車分離の話の中で「アンダーパスの整備により、安全性が向上した」とのことですが、踏切部分については歩車分離されていないということでしょうか。また、踏切部分の歩行者、自転車の交通量に変化があったか教えてください。
事務局	踏切部分については歩車分離を行っておりません。歩行者、自転車の交通量については計測していないため分かりませんが、自動車交通量が減少したことで安全性は向上したものと考えております。
委員 （井料美帆）	南乾地踏切は踏切道改良促進法に指定された踏切とのことですが、別途、踏切道改良計画があるという認識でよいでしょうか。
事務局	柱町線と若松線の整備について、本計画上の交付期間としては令和2年度までとしており、令和3年度からは踏切道改良計画事業補助制度に移行しています。その中で地方踏切道改良計画を作成しています。

委 員 （井料美帆）	南乾地踏切の交通量が減少するだけでなく、代替路ができることで踏切を閉鎖した際にも周辺道路への影響が少なくなるため、今後の踏切改良に向けても効果があると感じました。 羽根若松線については、岡崎駅針崎若松地区の事業が完了した際に歩車分離されるという理解でよいでしょうか。
事 務 局	そのとおりです。岡崎小学校の通学路にもなっている羽根若松線は現在歩車分離されていませんが、区画整理事業が完了した際に歩車分離されます。
委 員 （井料美帆）	今回の整備計画の評価は、事業全体に係る中間地点のものだと理解しました。最終的な目的への繋がりがビジョンとしてももう少し明確になると、市民に伝わりやすいと感じました。
委 員 （中井健太郎）	踏切についても、踏切自動車交通遮断量という形で評価されていますが、安全という視点での繋がりが明示されるとよいかと感じました。 公共空地率は未達成であり、令和８年度までに完了とのことですが、事業推進に当たっての課題があれば教えてください。
事 務 局	減価買収については相手のある話になるため、交渉等の中で問題が出る可能性はあるものと思います。
委 員 （中井健太郎）	踏切自動車交通遮断量が大きく減少したことに関して、「移動の方向が東方向から南方向に移った」とのこと、当初は想定していなかったものと思いますが、新たな混雑や想定外の問題等が起きていないか教えてください。
事 務 局	特に問題となるような混雑等の報告は届いていません。
委 員 （中井健太郎）	地区外の話で本事業の問題ではないので、岡崎市全体として、安全上の問題がなければよいと思います。

８ 結果
今回審議された事後評価案が妥当であることを判断する旨、全委員一致で採決された。